

白壁

第 01 号 平成 28 年 4 月 14 日発行
題字 福井陽子



新年度スタート、心機一転

平成 28 年度がスタートしました。新入生はガイダンスや検診などの年度始め行事に追われ、落ち着かない日々を過ごしていることと思います。心身ともに疲れているので、今は無理せずに指示されたことを着実にこなしていく、という心構えで頑張ります。なお 15 日実施の「多面的学力測定テスト（1 年）」は、現時点での学力・学習の状況を把握するためのテストであり、順位や成績を出すものではありません。

実力テスト・県下高校共通テスト

一方、二・三年生は悠長ではいられません。春季休業中に課題克服はできたでしょうか？ 4 月 15 日（金）実施の「実力テスト（2 年）」「県下高校共通テスト（3 年）」に対して、「どの分野のどういう事項についてどれくらい力がついたか」といった確認ポイントが明確ですか？ 具体的な目標点を定めていますか？ ただ漫然と受けてよいテストなど存在しません。今年初めのテストに向かう姿勢が、今年一年の姿勢を決めます。各自このことを肝に銘じてテストに臨んでください。

第一回 進路志望調査

各学年とも、4 月 15 日（金）は新年度最初の校内試験です。併せて「第一回進路志望調査」が実施されます。志望先は第一志望・第二志望の二つを記入することになります。臆することなく目標とする志望校を記入し

「20 年後の自分」



進路指導主任 齋藤郁子

「20 年後」あなたは何をしているだろうか。20 年後といわず、10 年後には今ある職業の多くがロボットに置き換わるだろうという人もいる。先行きの不透明な時代であるからこそ、20 年後の自分のために、多様な人々と協力しながら主体性を持って人生を切り開いていく力が重要になる。課題を解決するために必要な基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、思考力・判断力・表現力をもつこと。多様な人々と協働しながら主体的に学習に取り組む態度。混沌とした世界に、問題を発見し答えを導く力が、今求められている。大学入試も、これら「新しい学力」を評価するものに変化している。

3 年間の高校生活で以上のような多面的・総合的な学力を養うために、部活動・行事・ボランティア活動などの体験や総合学習での「探究活動」に積極的に取り組んで欲しい。20 年後の社会で活躍する皆さんの高校での学びに大いに期待する。

てください。なお志望先が二つとも大学の場合、難易度の高い方を「第一志望」に記入してください。毎回遠慮がちに「第二志望」欄に「あこがれの大学」を記入する人がいます。勇気と決意をもって第一志望に書きましょう！ なお、二・三年生はマークカードに大学コード番号をマークする方式での調査になります。即日回収ですので、マークミスにはくれぐれも注意してください（年々不注意な生徒が増え、確認・訂正に時間がかかっています）。

一年生は所定の用紙にコード番号を記入する方式です。提出締切は 4 月 21 日（木）です。大学に関する知識がまだ乏しく、調べる手立てもあまりない状態ですが、教室に配置した『栄雪時代 4 月号別冊』や全員に配付した『栄雪目指して』などを参考に、自分の

目標大学・学部等を定めてください。あくまで、現時点での夢・目標ですから、あまり緊張せずに選んでほしいと思います。

■ 1 年 多面的学力測定テスト

- PROG-H [知識を活用する力]
- 受験学力テスト [英・数・国 各 60 分]
- R-CAP [職業・学問適性検査]

■ 2 年 第 1 回実力テスト

- 1 国 語 [80 分, 200 点]
- 2 数 学 [90 分, 200 点]
- 3 英 語 [90 分, 200 点]

■ 3 年 県下高校共通テスト

- 1 国 語 [80 分, 200 点]
- 2 英 語 [90 分, 200 点]
- 3 数学① [60 分, 100 点]
- 4 数学② [60 分, 100 点]

	1 学年	2 学年	3 学年
4 月の目標	青高生になる＝自律	英数国・基礎力の確認をせよ	志をもって学習せよ

行事レポート Sプロジェクト

東大模試トライアル

3月22・23日

現3年生の希望者三十二名を対象に、昨年度末「東大模試トライアル」を実施しました。これはSプロジェクトの一環で、東大に即応した英数国の模擬試験を、2年終了時点でどれだけ解くことができるかという力試し企画です。採点は本校英数国の教員が担当し、点数を集計、個人成績表も作成しました。4月8日に集会を開き、成績表と答案を返却しました。

受験した生徒諸君は全員難関大学志望とあって非常に意識が高く、返却された答案を食い入るように見つめ、どのように採点されどこで減点されていたかなどを話し合い、自分の課題を確認していました。

また、採点を担当した教員側も、答案を通じて生徒一人一人の強みや課題を具体的に把握することができたので、指導にあたっても、「なにを・いつまでに・どれくらい」やればよいかを具体的かつ個別的にアドバイスすることが可能になり非常に有意義な企画でした。

受験者からは「これを機に添削指導をお願いしたい」「授業に加えて何をやればよいか」など、意欲的な言葉を聞くことができました。今後このモチベーションを維持して授業や講習に臨み、周囲を巻き込んで切磋琢磨する集団をつくってほしいと思います。8月のオープン模試（難関大即応）を目標に頑張ろう！ただし、あくまでも授業で力を養

うことが第一です。予習・復習に努めてください。その上で、添削等での力の積み上げをしましょう。

演習室3【2階】 を活用しよう！



2階にある演習室3には、主要国公立・私立大学の「赤本」や「受験報告書」「大学パンフレット」「東北大AO入試過去問題」など、進路・受験のために参考となる資料がそろっています。個人で家に持ち帰ることは禁止ですが、一時持ち出しは可能です。生徒用コピー機でコピーをしたらすぐ所定の位置に返却して下さい。ここに置いていないものについては、進路指導部にきて「〇〇はありますか？」と尋ねて下さい。喜んで対応します！

◆注意！◆

この部屋は資料閲覧・自学自習のための空間です。昼休みといえども、飲食は禁止です。「学びたい人による学びたい人のための空間」にしていきたいです。

◆よくある質問◆

Q 1・2年生も利用できますか？
A もちろん。どんどん来て下さい。

編集後記

2016年入試の大学別合格者数一覧をホームページに掲載しました。ご覧ください。なお、昨年度の「白聖」9・10号に合否状況の講評を掲載しています。あわせてお読みください。

今年の目標発行回数は、15回です。有言実行で頑張ります。進路係の生徒諸君にも手伝ってもらいますよ！（あ）

	氏 名	教科	学年
平成28年度 青森高校 進路指導部 スタッフ	主 任 齋藤 郁子	理科	3学年
	副主任 笠井 敦司	国語	3学年
	高木 淳	数学	3学年
	松本 郁夫	芸術（美）	2学年
	明石 裕	地歴公民	1学年
	蝦名 諒斗	理科	1学年
	神 保子	模試会計担当	
◎一年間よろしくお願いいたします。			